

第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立園芸高等学校
校長名	真鍋 政明

開催日時	平成31年3月2日(土)14時～16時
開催場所	本校校長室
出席者(委員)	中桐貴生会長、小南修身委員、田井中陽子委員、服部三信委員 大坪真哉委員
出席者(学校)	真鍋政明校長、田中宏子教頭、神絵里香首席、橋詰五百騎首席 足立亨志教諭(農場長)、安田陽教諭(バイオサイエンス科)、酒井さとえ教諭(フラワーファクトリ科)
傍聴者	0名
協議資料	平成30年度、平成31年度学校経営計画および学校評価 平成30年度第2回授業アンケート結果 平成30年度進路状況 平成30年度学校教育自己診断 スーパーサイエンスハイスクール事業報告
備考	

議題等(次第順)

- 1 平成30年度、平成31年度学校経営計画および学校評価
- 2 平成30年度学校教育自己診断
- 3 平成30年度後期授業アンケート結果
- 4 スーパーサイエンスハイスクール事業報告
- 5 平成30年度卒業生進路状況
- 6 その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1. について
 - ・平成30年度 の学校経営計画と比較して、31年度のものの方が内容がより本校にふさわしいものになっている(小南)
 - ・自己評価なので、比較をすることも大事で自分たちの振り返りをマイナス面も含めて重視すべき(中桐)
 - ・携帯電話の持ち込みについての指導はどうなっているのか(田井中)
 - ・安全安心の分野について、災害で生徒が帰宅困難になったときの対応をしっかりさせておく方が良い(服部)
2. について
 - ・数字だけでは教育内容が分かりにくいところもあるのではないかと(大坪)
 - ・生徒会活動についての教員の意識の共有ができていないように思われる(小南)
3. について
 - ・生徒によって理解度や進路が異なるので一斉授業は難しいのではないかと。そういう意味では補講は助かった(田井中)
 - ・カリキュラムの工夫は習熟度別授業で対応したい
 - ・各教員へのフィードバックの仕方も考えて先生方のやる気を促す方法を検討すると良い(中桐)
4. について
 - ・大学にもSSHについての意見を聞きにくるが、進学校は受験のことばかり質問されるのに対して、本校ではSDGsなど目標が明確で意識しやすい(中桐)
 - ・中学でもSDGsに対する取組が始められているので、園芸高校とも連携したい(大坪)
5. について
 - ・進学・就職とも好調である(真鍋)

次回の会議日程

日時	平成 31年 3月 2日(土)14時～16時
会場	本校 校長室